

# MAENAN SAH Journal Vol.32

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Feb. 15th, 2024

## ★『SEL (Social & Emotional Learning) 「社会的・情動的学習」』とは?★



昨年の11/8～11/10にかけて、群馬県の山本知事が『英国スコットランド』を訪れ、『SEL教育の共同研究に関する連携』について、関係機関を訪問したことが報じられました。そこで、『スコットランドの教育改革の経緯』や『SEL教育の具体的な取組内容』についての説明を受けたそうです。また、『群馬県とスコットランドとの共同研究の提案』を行ったとも報じられました。

『SEL (Social & Emotional Learning)』とは、『社会的・情動的学習』と呼ばれ、教育現場や家庭で行われる『EQ教育 (Emotional Intelligence Quotientの略称)』と言えます。『EQ』とは、『自身や周囲の人達の感情を適切に察知し、うまく扱う能力』のことです。IQ (Intelligence Quotient) というコトバをよく耳にしますが『知能指数』を意味しています。『IQ』とは『知能』をうまく扱う能力、『EQ』とは『感情』をうまく扱う能力と理解していただくとうわかりやすいかと思います。

『SEL』は子どもが、『自分の感情を認識し上手に調整する』『前向きな目標を自ら設定し向かっていく』『人の気持ちを理解し、共感を示す (適切な対応をとる)』『良好な人間関係を築き、維持し、修復する』『責任ある決断をする』といった行動において必要な知識・態度・スキルを習得し、効果的に活用するためのプロセスと言えます。すべての学びのためのベースとなるものであり、自分自身や「人間」について学ぶためのプロセスなんだそうです。ということは、『SEL』とは、いわば『非認知能力を育むプロセス』だと言ってよいと思います。

これまでの教育は、学力や偏差値を上げ、「正しい答え」を導き出す技術を教え、試験で高い得点を取り、偏差値の高い学校に入学することが子どもたちの教育の最終目標であるかのような傾向にありました。しかし、それ以前に『子ども達が豊かに成長し、どんな困難があってもたくましく生き抜く力をつける』ことは、これからの時代を生きていくうえで最も重要なことです。



**認知能力・知的能力 (IQ)** … 基礎的知識、記憶力、判断力などの一般的な知能検査 (テスト) で測定できる能力 (算数、国語などの学校の試験)

**非認知能力・こころの知能指数 (EQ)** … 意欲、興味、自信、協調など心の動きに関する能力であり、数値で測ることはできないが、生きる上で必要な力

『認知能力』と『非認知能力』は、絡み合うように伸びると言われています。意欲や関心を持って粘り強く取り組むと、自然に深く考えたり工夫したりする認知能力が高まります。結果、達成感や充足感が得られ、自己肯定感が高まり、「次も頑張ろう」と非認知能力が強化されます。

## ★『SEL』で身につくスキル★

非認知能力を育むことができるといわれる『SEL』は、以下のスキルを身につけることが狙いです。これらのスキルを身につけることで、子どもたちの問題行動の減少や学力の向上も期待できると言われています。

**自己認識 (Self-awareness)** 自分の感情、思考、価値観、そして、自分の行動にどのような影響を与えるかを正確に認識できる能力。自分の強みや弱みを把握し、自分にはできるという自己効力感を持ちながら前向きに物事を遂行する能力も含まれる。

**自己管理 (Self-management)** 自分の感情、思考、行動を律する能力。ストレスコントロール、衝動の抑制、やる気の持続を効果的に行いながら、学習面や生活面の目標を達成する能力。

**社会意識 (Social-awareness)** 他人の立場に立って物事を理解し、共感できる能力。また、社会規範や倫理規範を理解したり、家族・学校・コミュニティのなかで自分がアクセスできる社会の支援体制について認識する力。

**対人関係 (Relationship skills)** 多様なバックグラウンドを持った個人やグループと良好な関係を築き、維持できる能力。自分の意見を表現する、他人の意見を聞ける、他人と協力する能力だけでなく、同調圧力に抵抗できる能力、自ら支援を求めたり、他人を支援することができる能力も含まれる。

**責任ある意思決定 (Responsible decision-making)** 安全性・社会規範・倫理規範に基づいた選択をし、行動できる能力。また、自身の行動の結果を現実的な視点から評価し、自分や他者の幸せを考慮することができる能力。



## ★『SEL』でスキルを身につけた成果★

OECD (経済協力開発機構) も、『SEL』のような『社会性や情動を育むこと』を重要視しており、研究報告をあげています。その研究報告の中で、『社会性と情動を学び、身につけた学生に以下のような成果』があったこと示しています。

『学力が向上した』・『収入が高く、よい仕事について』・『健康である』・『幸せを感じている』・『積極的で行動的』・『自分の属しているコミュニティに貢献しようとする』

スコットランドの『SEL』とはどんな教育なのか、興味があります。SAHにより、非認知能力の育成を目指している本校としても研究していきたいと考えます！みなさんも書籍を購入したり、インターネットで検索してみたいかでしょうか？当然、自分自身や私たちの属しているコミュニティ全体の『Well-being』の向上につながるはず！ 文責：星野 亨 (教頭)

### ★校長より★

今号をパッと見た瞬間、英国のノスタルジックなモノクロ写真から始まり、最後は夕日にVサインを送る美女3人組なんて、「教頭先生、今号はエモいですね〜 (Emotionalだけに笑)」と思ってしまった。さてさて内容はと読み進めると、「・・・、むずい」と感じてしまった。でも、この内容を文章だけで伝えようとするのが難しく感じるけど、図や写真を効果的に配置することで読者の興味を惹くとは、教頭先生の非認知能力がますますアップしていますね。さて、今度は『SEL』です。横文字や略語が多く使われ、何のことかと思う人も多いと思いますが、私は『認知能力と非認知能力をバランス良く育むことを目指す』教育活動であると理解しました。前南のグランドデザインにある、「国際実践力」を身につけるチャンス到来かな。 校長 関根 正弘